
タイム魔神

海苔島まさび

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

タイム魔神

【Nコード】

N6818V

【作者名】

海苔島まさび

【あらすじ】

【空想科学祭2011 BLUE部門参加作品】

フラレボーイン君の机の引き出しからキュートでレガシー パラドックスでディスプレイー そんなちよつと名状しがたい魔神が飛び出した？

「ヤア初めまして吾輩はタイム魔神。君の願いを3つまで叶えて進ぜよう（ 時間に関する内容限定です）」

(前書き)

【空想科学祭2011参加作品】

「なんだよ今日のラッキーアイテムは『聖骸布』って！ そんなもん持ってたらてんびん座に関わらずラッキーだよ！ 間違いなくなんかの加護あるわ！ ゴッド・ブレス・ミーだよ！ 卒業式にこの三年間の勇気を目一杯振り絞った告白が失敗してもう死にてー死にてー、ってなってもイースターを待たずに復活する勢いだわ！ くそっ、くそっ」

N君が机の前で白いものを擦る作業に専念していると、突然机の引き出しから薄青いずんぐりむっくりの名状しがたい異様な物体が葉巻をふかしながら現れた。

「ヤア初めまして吾輩はタァーイム魔神。君の願いを3つまで叶えて進ぜよう」プカー

「うわわわ！ 金！ 女！ 地位と名誉！」

「無駄に反応だけ早いウスノロめが！ タイム魔神だと言っておるだろうが空気を読め！ やりなおしだ！」

チツクタツクチツクタツク

「ヤア初めまして吾輩はタイム魔神。君の願いを3つまで叶えて進ぜよう（時間に関する内容限定です）」プカー

「うわー！ じゃあ、さつきクラスのアッドオンナに告白して玉砕したからその過去を変えたい！」

「おやすい御用さ」

BAGHOOOOM!

タイム魔人はN君の首根っこをひつつかんで机の引き出しに叩き込んだ。
部屋に残されたのはN君が書いては消し、書いては消した机の上の相合傘と真っ白な消しゴムだけ。

..... チックタックチックタック
.....

「卒業する前の最後の思い出に、哀れと思ったら一日だけお付き合
いしてください！」

「ごめんなさい」

「うわー！ やっぱりダメだったー！」

走って帰って机の引き出しを開く。しかしそこからタイム魔人が
現れることはなかった。

「おいおいちょっと待ってよ3つまで叶えてくれるって言っただろ
ちよっと待ってよ実際ー、あと2回トライできるんじゃないかなかったら
もうちよっと慎重な方法でいったわーないわー最悪だわー実際ー」

「ヤア初めまして吾輩はタイム魔人」プカー

「出たー！」

「ワハハ驚いていただいで身に余る光栄。なにはともあれ君の願
いを3つまで叶えて進ぜよう（時間に関する内容限定です）」

「マジビビったわー、じゃあこんどは……いや……？」

初めましてといったか？

もしかして、時間を遡ったことで、タイム魔人も今回が初めてだ
と認識してしまっているのでは？

（こいつはとんだどんくさい魔神だぜ！ じゃあ試しに）

「これって3回頼めるってこと？」

「さっき3つの願いと申し上げましたが二度同じことを言わせるなよウスノロ？」

「すすすすいません、根性焼きだけは勘弁を。……ではさっき失敗した告白をですな、もう一度リトライしたいなーなんて」

「おやすい御用さ」プカー

BAGHOOOOM!

チツクタツクチツクタ
ツク

「あのー毎朝俺の味噌汁を作ってくれ！」

「え………なんですか気持ち悪い」

「わー！」

全速力で走って帰る。

「ヤア初めまして吾輩はタイム魔人」プカー

BAGHOOOOM!

チツクタツクチツクタ
ツク

「あのー毎朝俺の味噌汁を作ってくれ！とかいう男って気持ち悪いですよ。僕もむっちゃそう思うわー。今時はやっぱイクメン。

俺がこれから料理専門学校に入ってカリスマシェフになるから毎朝君に味噌汁を作ってあげたい！」

「え……なんですか気持ち悪い」
「2択じゃなかったー！」

だだだだだ

「ヤア初めまして吾輩はタイム魔人」プカー
「あのー3年くらい前って可能ですかね」
「お安い御用さ」

BAGHOOOOM！

- - - - - チツクタツクチツクタ
ツク - - - - -

「あのーもしかして同じ中学じゃなかった？ ヤハ八同中で隣同士
なんて奇遇だね、俺、Nっていうんだ。これから三年間、よろしく
な」

「あ、もしかして、中学のとき『アンキモ』って呼ばれてたひとで
すよね！ 気持ち悪くて粘着質で底辺を這いずってるとか……内容は
悪いけど名付けた人はセンスあるなーって思ってたんです。あ、
ごめんなさいこんなこと言っちゃって、てへ」
「最悪だー！」

高校三年間を駆け足で過ごす。

「ヤア初めまして吾輩はタイム魔人」プカー
「あのー6年くらい前って可能ですかね」
「お安い御用さ」

BAGHOOOOM！

チツクタツクチツクタ
ツク

「あのー」

「あ、ごめんなさい。彼氏が待つてるから、ごめんね」

「カ、カレシ……」

ずーっと二人は別れる様子もなく仲睦まじい様子。それを3年間
ジト目で監視し続けるだけの青春！

「あのーもしかして同じ中学じゃ」

「あ、『アンキモ』さん」

「しまったー！ それでかー！」

月日は百代の過客にしてなんとかかんとか。それもつ何回も習っ
たわー。

「ヤア初めまして吾輩はタイム魔人」プカー

「9年前とかでひとつ」

BAGHOOOM!

チツクタツクチツクタ
ツク

「あのーすいませんAさんいらっしやいます……え、うちには娘は
いない。ああそう、すいません。そもそもAさんではない。表札の
名前も違う。あれーおかしいなー」

そういえばあと一年後に引越してくるんだっただか？

これがホントの、をとめのすがたしばしとどめむ。もう何言ってるんだかよくわからないが。段々記憶が曖昧に。

- - - - - チックタックチックタ
チック

- - - - - チックタックチックタ
チック

- - - - - チックタックチックタ
チック

何百回とも知れない試行の末。ついに、N君は、倒れた。

彼女に会いに行く途中、足に力が入らなくなって。

(何回繰り返しても無駄なのかな……何回やっても僕はアンキモで彼女が引越してきたときには既にとり男と幼馴染になっていて……。あー、無理だ、無理……)

「……あの！ 大丈夫ですか！？ 誰か！ 救急車お願いします！
もしもし、もしもし！」

(あー、彼女は困った顔もなかないな。彼女が僕のためにいろいろ尽くしてくれてるなんて初めてかもな……)

「大丈夫ですか！ 大丈夫ですか！？ あっ……たしかN君！？
大丈夫！？ しっかりして、救急車呼んだから！」

(やっぱりいいな。名前も覚えててくれたんだ……なかなか、悪く

ない……嬉しいもんだね……)

救急車で運ばれてゆくN君を上空から見下ろし、タイム魔神はつぶやく。

「すまないねN君。こちらにも、今期予算の締め日というものがあってね」

携帯端末を取り出し、どこへやら電話をかける。

「あ、どーもーお疲れ様ですー吾輩ですー。今タマシイ回収しましたんでー。ええ3月26日16:00締結の同日15:55売上です。売上までマイナス5分って最速記録ではあるまいかー？　ワハハ。そもそも悠長に3つの願いなんぞ待ってるから、ま、大きな声では言えないのであるが、先輩方は成績を上げられないのではないか、と思っておるのだがね？　ワハハ！　先輩方が親方ソロモンの古臭いランプに籠っておる間にグローバル市場のスピード感は……おい、聞いておるのか！　なにい、その話は別の時間軸で耳がネズミにかじられるほど聞いただと！　バカな、吾輩は知らんぞそんなこと！」

イラつきながら噛みちぎる葉巻はハバナ産、歴史上一番いい年に採れた最高級の葉をこれまた採れたての聖骸布で巻いたタイム魔神業界では至高の逸品。

「フウー……。仕事の後の一服は生き返るのである……」

(後書き)

宇宙と時間、それは人類に残された最後のフロンティアですよー。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6818v/>

タイム魔神

2011年8月30日20時51分発行